

大嶽康子 おほたけ やすこ 看護婦。大正四年静岡縣生乳（一九一五）。日本赤十字社看護員として昭和十一年召集。雑誌『女子文苑』の從軍記録「航海自誌」を寄稿、更に『病院船』（昭和十四年七月五日女子文苑社）と題して刊行、ベスト・セラーとなり、從軍看護婦報告文學の先蹤となりた。次で『野戰病院』（昭和十六年七月十九日主婦之友社）を出版。後年合本版『病院船・野戰病院』（日本赤十字中央女子短期大学同窓会編、昭和五十四年五月五日日本看護協会出版会）刊。

